

第4回 アジアクラブハウス会議（東京）への寄付のお願い

標記の会議が、平成26年8月29日から31日まで、帝京平成大学（東京）にて開催されます。

本会議は、精神障がい者のリハビリテーションモデルの1つである『クラブハウスモデル（Clubhouse Model）』を実践しているアジア地域のクラブハウスのメンバー（当事者）やスタッフが一同に介するものであり、これまでに3回（2004年：香港、2006年：韓国、2012年：韓国）の会議を開催してまいりました。今回の第4回大会は、日本で初めて実施する国際会議であり、日本クラブハウス連合に加盟している5ヶ所のクラブハウスが主体となり企画・運営等を行っています。

クラブハウスモデルは、1940年代に米国・ニューヨークで誕生した「ファウンテンハウス」での取り組みを起源としており、地域で生活していた精神障がい者の居場所や仲間づくり、そして、人間として尊厳の回復や主体性の再獲得を目指した取り組みです。開始当初は、小さなセルフヘルプグループであったものが、現在は世界33ヶ国、333ヶ所で取り込まれるなど世界的な規模で実践され、数多くの精神障がい者のリハビリ、エンパワメント、権利擁護に携わっています。

近年は、アジア地域で著しい発展をしており、韓国、中国本土、香港、台湾、インド、インドネシア、そして日本で取り組みが進んでいます。国、文化、社会、教育等の状況が異なるアジア地域の中でクラブハウスモデルが実践されている背景には、上述したクラブハウスモデルの理念や視点が万国共通であるからこそだと言えます。この共通する部分を確認し合い、国を超えた交流や意見交換をすることを目的に、アジアクラブハウス会議は定期的開催されています。

ただ、アジア地域のクラブハウスを取り巻く環境は、社会経済の状況や法制度との兼ね合いもあり、財政的に余裕があるとは言えません。そのため、クラブハウスの中にはかなりの費用を捻出しながらアジア会議に参加している所もあります。主催者側としては、日本を含め、アジア地域の多くのクラブハウスが参加できるように参加費を抑えるなどの対応をしておりますが、それ以上の金銭的な支援を講ずることができそうにありません。

そのため、日本クラブハウス連合は以下のような目的等を踏まえ、アジア会議の趣旨に賛同していただける個人の方、企業や団体からのご支援ご助力を賜りたく存じます。

目 的：開発途上国（インド・ネパール等）で活動しているクラブハウスの仲間の第4回アジアクラブハウス会議への参加をサポートする。

使用目的：渡航費や参加費の補助

報 告 等：会議終了後に報告書を作成し、その中の収支報告書等で結果を報告。また日本クラブハウス連合の公式サイトでも寄付金額や寄付者名（希望者のみ）を掲載する。

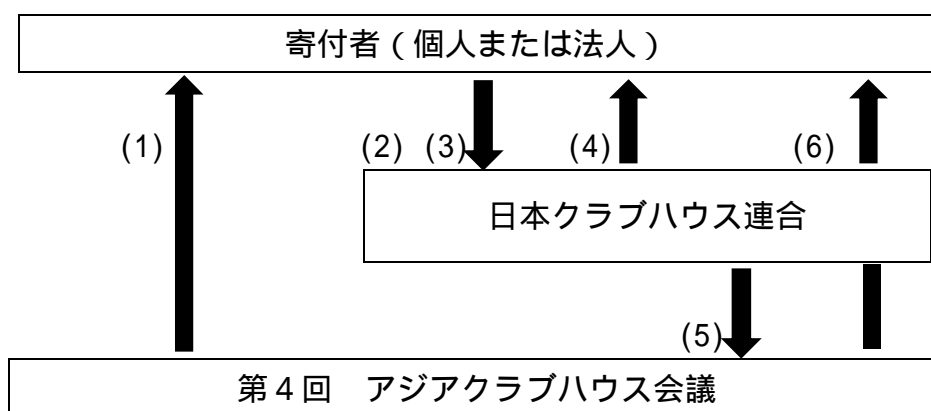
そ の 他：本会議の具体的な内容については別紙の開催趣旨を参照。

本会議は厚生労働省、東京都等から後援を頂く予定（申請中）。

平成26年4月吉日

日本クラブハウス連合
会長 河瀬 弘之

第4回 アジアクラブハウス会議（東京） 寄付に関するフローチャート



(1) 第4回 アジアクラブハウス会議主催者からの寄付金要請

(2) 寄付金申込み... 寄付者は寄付金申込書に必要事項を記入し、下記に郵送または FAX で必ずお送りください。

宛先：〒187-0032 東京都小平市小川町1-407-11

日本クラブハウス連合事務局（クラブハウスはばたき内）

TEL・FAX：042-343-0676

個人様は一口 1,000 円、企業・団体様は一口 5,000 円をお願いしております。
一口以上何口でも結構ですので、よろしくお願い申し上げます。

(3) 寄付金払込み... 申込書送付後、寄付者は日本クラブハウス連合指定の口座へ申込金額をお振込み下さい。

(4) 領収書発行... 寄付金のお振込みが確認され次第、受領証明書を発行し、送付いたします。

(5) 支援金の交付... 日本クラブハウス連合からアジア地域のクラブハウスに支援金として交付します。

(6) 報告等... 会議終了後に作成する報告書や日本クラブハウス連合の公式サイト等で寄付金報告をいたします。ご希望に応じて日本クラブハウス連合の公式サイトに寄付者名（企業名）を記載させていただきます。